

テーマ 16：地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備（住宅地の魅力の維持・向上）

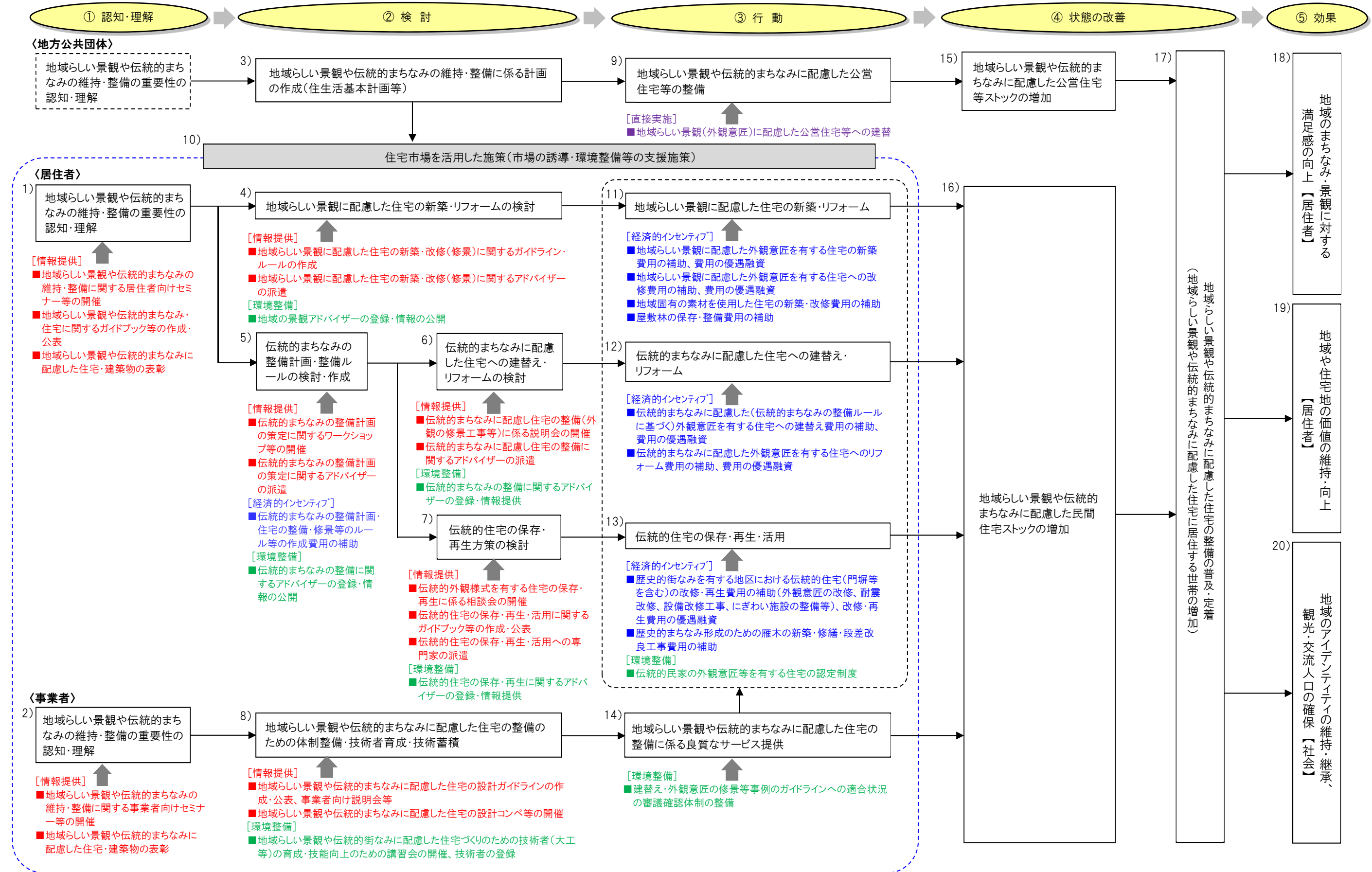


図 1-19 ロジックモデルの作成例

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
① 認知・理解	1) 地域らしい景観や伝統的まちなみ ^{注1)} の維持・整備の重要性の認知・理解 (居住者)	地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知・理解している住民の割合 【OC 指標】	住宅・土地統計調査/ 住生活総合調査 (方法①)	5年	住宅・土地統計調査及び住生活総合調査データに基づき、世帯の総数に占める、住宅のまわりの環境の重要項目として「まちなみ・景観」を選んだ世帯数の割合について集計する。
			住民調査 (方法②)	数年	定期的に住民調査を実施し ^{注2)} 、「住宅及び住宅のまわりの環境の評価項目のうち重要と思う項目」を問い ^{注3)} 、世帯の総数に占める ^{注4)} 、住宅のまわりの環境の重要項目として「まちなみ・景観」を選んだ世帯数の割合について集計する。
			住民調査 (方法②)	数年	定期的に住民調査を実施し、「住宅の選択において重視している事項」を問い、世帯の総数に占める、住宅の選択において「地域らしい景観や伝統的まちなみ」を重視していると回答した世帯数の割合について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備に関する居住者向けセミナー等の参加者数 【MO 指標】	セミナー等実績報告書 (方法③)	1年	【セミナー等を実施している場合の指標】 セミナー等実績報告書に基づき、地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備に関する居住者向けセミナー等に参加した居住者数(開催別人数、延べ人数)について集計 ^{注5)} する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知したセミナー等参加者の割合 【MO 指標】	セミナー等実績報告書 (方法③)	1年	【セミナー等を実施している場合の指標】 セミナー等実績報告書に基づき、上記のセミナー等に参加した居住者の総数に占める、「地域らしい景観や伝統的まちなみの整備や維持の重要性を認知・理解した」と回答した居住者数(延べ人数)の割合について集計 ^{注6)} する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみ・住宅に関するガイドブック ^{注7)} 等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 【予備指標】	ガイドブック等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 (方法③)	1年	【ガイドブック等公表している場合の指標】 公表している「地域らしい景観や伝統的まちなみ・住宅に関する居住者向けガイドブック」等の配布数 ^{注8)} 、関連する情報を公開しているウェブサイトへのアクセス数(サイト上からのガイドブック等のダウンロード数)について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅等の表彰制度を認知・理解している世帯の割合 【MO 指標】	住民調査 (方法②)	数年	【表彰制度等を実施している場合の指標】 定期的に住民調査を実施し、「地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅・建築物の表彰制度を知っているか」を問い、世帯の総数に占める、「制度の内容を認知・理解している」と回答した世帯数の割合について集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
① 認知・理解	2) 地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性の認知・理解 〈事業者〉	地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知・理解している事業者の割合 【OC 指標】	事業者調査 〈方法②〉	数年	地域の建設関連団体・不動産関連団体等を通じ、定期的に住宅供給事業者・住宅管理業者調査を実施し ^{注9)} 、「地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知・理解しているか」を問い、事業者の総数に占める ^{注10)} 、「地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知・理解している」と回答した事業者数の割合について集計する。
		景観計画制度に関する事業者向けセミナーの参加者数 【MO 指標】	セミナー等 実績報告書 〈方法③〉	1年	【セミナー等を実施している場合の指標】 セミナー等実績報告書に基づき、景観計画制度に関する事業者向けセミナー等に参加した事業者数(開催別事業者数、延べ人数)について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備の重要性を認知した事業者の割合 【MO 指標】	セミナー等 実績報告書 〈方法③〉	1年	【セミナー等を実施している場合の指標】 セミナー等実績報告書に基づき、上記のセミナー等に参加した事業者の総数に占める、「良好な景観の整備や維持の重要性を認知・理解した」と回答した事業者数(延べ人数)の割合について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅等の表彰制度を認知・理解している事業者の割合 【MO 指標】	事業者調査 〈方法②〉	数年	【表彰制度等を実施している場合の指標】 地域の建設関連団体・不動産関連団体等を通じ、定期的に住宅事業者調査を実施し、「地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅・建築物の表彰制度を知っているか」を問い、事業者の総数に占める、「制度の内容を認知・理解している」と回答した事業者数の割合について集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
② 検討	3) 地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備に係る計画の作成 〈地方公共団体〉	地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備に係る支援施策を位置づけた住生活基本計画等を作成している地方公共団体の割合 【OC 指標】	地方公共団体調査 〈方法②〉	1年	【国又は都道府県での指標】 地方公共団体に対する調査を毎年度実施し、地域らしい景観や伝統的まちなみの維持・整備に係る施策を位置づけた住生活基本計画等を作成している地方公共団体(都道府県、市区町村。以下同様とする。)の数、及び全地方公共団体数に対する割合について集計する※1。 ※1 国の場合は全国の都道府県及び市区町村を対象に、都道府県の場合は当該都道府県下の市区町村を対象に集計する(以下の※1 も同様とする)※11)。
	4) 地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォーム ^{注12)} の検討 〈居住者〉	地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォームに関するガイドブック等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 【予備指標】	ガイドブック等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 〈方法③④〉	1年	【ガイドブック等を公表している場合の指標】 公表している「地域らしい景観に配慮した住宅の新築(建替えを含む。以下同様とする。)・リフォームに関するガイドブック等」の配布数、関連する情報を公開しているウェブサイトへのアクセス数(サイト上からのガイドブック等のダウンロード数)について集計する。
		地域らしい景観に配慮した住宅に係るアドバイザーの派遣等の件数 【MO 指標】	派遣実績報告書 〈方法③〉	1年	【派遣事業等を実施している場合の指標】 派遣実績報告書等に基づき、地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォームに関するアドバイザー派遣等の支援実績(申請件数、利用件数)について集計 ^{注13)} する。
	5) 伝統的まちなみの整備計画・整備ルール ^{注12)} の検討・作成 〈居住者〉	伝統的まちなみの整備計画の策定検討に係るコンサルタント派遣等の件数 【MO 指標】	派遣実績報告書等 〈方法③〉	1年	【派遣事業等を実施している場合の指標】 派遣実績報告書等に基づき、伝統的まちなみの整備計画の策定検討に向けた、ワークショップの開催等に係るコンサルタントの派遣等の支援実績(申請件数、利用件数)について集計する。
		伝統的まちなみの整備計画の作成費用の補助等の件数 【MO 指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、伝統的まちなみの整備計画の作成費用の補助等の支援実績(申請件数、利用件数)について集計する。
	6) 伝統的まちなみに配慮した住宅への建替え・リフォームの検討 〈居住者〉	伝統的まちなみに配慮した住宅に関する相談件数 【MO 指標】	相談実績報告書等 〈方法③〉	1年	相談実績報告書等に基づき、相談会・相談窓口等における、住宅所有者からの伝統的まちなみに配慮した住宅の整備(外観の修景工事等)に関する相談件数について集計する。
		伝統的まちなみに配慮した住宅に係るアドバイザーの派遣等の件数 【MO 指標】	派遣実績報告書等 〈方法③〉	1年	【派遣事業等を実施している場合の指標】 派遣実績報告書等に基づき、伝統的まちなみに配慮した住宅の整備に係るアドバイザーの派遣等の支援実績(申請件数、利用件数)について集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
② 検討	7) 伝統的住宅の保存・再生方策の検討 (居住者)	相談窓口等における伝統的住宅の保存・再生に関する相談件数 【MO 指標】	相談実績報告書等 (方法③)	1年	【相談窓口等を設置している場合の指標】 相談実績報告書等に基づき、相談会・相談窓口等における、伝統的住宅の所有者等からの「伝統的住宅の保存・再生に関する相談件数」について集計 ^{注14)} する。
		伝統的住宅の保存・再生・活用に関するガイドブック等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 【予備指標】	ガイドブック等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 (方法③④)	1年	【ガイドブック等を公表している場合の指標】 公表している「伝統的住宅の保存・再生・活用に関するガイドブック・事例集」等の配布数、関連する情報を公開しているウェブサイトへのアクセス数(サイト上からのガイドブック等のダウンロード数)について集計する。
		伝統的住宅の保存・再生に係るアドバイザーの派遣等の件数 【MO 指標】	派遣実績報告書等 (方法③)	1年	【派遣事業等を実施している場合の指標】 派遣実績報告書等に基づき、伝統的住宅の保存・再生に係るアドバイザーの派遣等の支援実績(申請件数、利用件数)について集計する。
	8) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備のための体制整備・技術者育成・技術蓄積 (事業者)	地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備のための体制整備・技術者育成・技術蓄積に積極的に取り組んでいる事業者の割合 【OC 指標】	事業者調査 (方法②)	数年	地域の建設関連団体・不動産関連団体等を通じ、定期的に住宅供給事業者・住宅管理業者調査を実施し、「地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備のための体制整備・技術者育成・技術蓄積への取り組み状況」を問い、事業者の総数に占める、「体制整備・技術者育成・技術蓄積に積極的に取り組んでいる」と回答した事業者数の割合について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の設計ガイドライン ^{注15)} の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 【予備指標】	ガイドライン等の配布数、ウェブサイトへのアクセス数 (方法③④)	1年	【ガイドライン等を公表している場合の指標】 公表している「地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の設計ガイドライン」等の配布数 ^{注16)} 、関連する情報を公開しているウェブサイトへのアクセス数(サイト上からのガイドブック等のダウンロード数)について集計する。
		地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の設計コンペ等の応募者数 【MO 指標】	表彰制度実績報告書等 (方法③)	1年	【表彰事業等を実施している場合の指標】 表彰制度実績報告書等に基づき、地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の設計コンペ等に関する事業者からの応募件数について集計する。
		技術者の技術力向上のための実務講習会の参加者数 【MO 指標】	講習会等実績報告書 (方法③)	1年	【講習会等を実施している場合の指標】 講習会等実績報告書に基づき、地域らしい景観や伝統的街なみに配慮した住宅づくりのための技術者(大工等)の技術力向上のための実務講習会に参加した技術者数(開催別技術者数、延べ人数)について集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
③ 行動	9)地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した公営住宅等の整備 〈地方公共団体〉	地域らしい景観(外観意匠)に配慮した公営住宅等の整備件数 【OC指標】	公営住宅等長寿命化計画 〈方法③④〉	10年及び5年	公営住宅等長寿命化計画に基づき、同計画の計画期間内(10年間及び5年間)における、地域らしい景観(外観意匠)に配慮した建替え又は改善事業等が実施される公営住宅等の団地数の合計及び戸数の合計について集計する。
	10)住宅市場を活用した施策 〈地方公共団体〉	地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備に係る支援施策を実施している地方公共団体の数及び割合 【OC指標】	地方公共団体調査 〈方法②〉	1年	【国又は都道府県での指標】 地方公共団体に対する調査を毎年度実施し、地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備の促進に係る支援施策(補助、優遇融資等)を実施している地方公共団体の数、及び全地方公共団体数に対する割合について集計する※1。
	11)地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォーム 〈居住者〉	地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォームをした世帯の割合 【OC指標】	住民調査 〈方法②〉	数年	定期的に住民調査を実施し、「住宅の新築やリフォームの実施状況」又は「新築・リフォームにあたって重視した事項」を問い、最近の一定期間内に戸建住宅の「新築」又は「リフォーム」をした世帯の総数に占める、新築・リフォームに際して「地域らしい景観に配慮した外観等の住宅であること」を重視した世帯数の割合について集計する※2。 ※2 最近の一定期間内として、「1年以内、3年以内、5年以内」等の期間を設定して集計する(以下の※2も同様とする。)
		地域らしい景観に配慮した住宅の新築・リフォーム費用の補助等の件数 【MO指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、地域らしい景観に配慮した外観意匠を有する住宅の新築費用やリフォーム費用の補助、新築・リフォーム費用の優遇融資等の支援実績(申請件数、利用件数)について、支援施策ごとに集計する。
		地域固有材を使用した住宅の新築・リフォーム費用の補助等の件数 【MO指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、地域固有の素材を使用した住宅の新築・リフォーム費用の補助等の支援実績(申請件数、利用件数)について、支援施策ごとに集計する。
		屋敷林の保存・整備費用の補助等の件数 【MO指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、屋敷林の保存・整備費用の補助等の支援実績(申請件数、利用件数)について、支援施策ごとに集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
③ 行動	12) 伝統的まちなみに配慮した住宅への建替え・リフォーム 〈居住者〉	伝統的まちなみに配慮した住宅の新築・リフォームの実施戸数 【OC 指標】	実績報告書 〈方法③〉	数年	地方公共団体が保有する実績報告書データに基づき、伝統的まちなみ地区において、伝統的まちなみの整備ルールに基づいて「新築」又は「リフォーム」を実施した住宅戸数の合計について集計する。
		伝統的まちなみに配慮した住宅に配慮した住宅の新築・リフォームをした世帯の割合 【OC 指標】	住民調査 〈方法②〉	数年	定期的に住民調査を実施し、「住宅の新築やリフォームの実施状況」又は「新築・リフォームにあたって重視した事項」を問い、最近の一定期間内に住宅の「新築」又は「リフォーム」をした世帯の総数に占める、新築・リフォームに際して「伝統的まちなみに配慮した住宅であること」を重視した世帯数の合計の割合について集計する※2。
		伝統的まちなみに配慮した住宅への建替え・リフォーム費用の補助等の件数 【MO 指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、伝統的まちなみに配慮した（伝統的まちなみの整備ルールに基づく）住宅への建替え・リフォーム費用の補助、建替え・リフォーム費用の優遇融資等の支援実績（申請件数、利用件数）について、支援施策ごとに集計する。
	13) 伝統的住宅の保存・再生・活用 〈居住者〉	伝統的住宅の保存・再生等の実施の戸数 【OC 指標】	実績報告書 〈方法③〉	数年	地方公共団体が保有する実績報告書データに基づき、伝統的外観様式・居住様式等を有する住宅の保存・再生等の実施の戸数について集計する。
		伝統的住宅のリフォーム・再生費用の補助等の件数 【MO 指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、歴史的街なみを有する地区における、伝統的住宅のリフォーム・再生費用の補助、リフォーム・再生費用の優遇融資等の支援実績（申請件数、利用件数）について、支援施策ごとに集計する。
		歴史的まちなみ形成のための雁木の整備費用の補助 【MO 指標】	補助等実績報告書 〈方法③〉	1年	【補助事業等を実施している場合の指標】 補助等実績報告書に基づき、歴史的街なみを有する地区における、歴史的まちなみ維持・整備のための雁木の新築・修繕・段差改良工事費用の補助等の支援実績（申請件数、利用件数）について、支援施策ごとに集計する。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
③ 行動	14) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備に係る良質なサービス提供 〈事業者〉	地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の供給実績 【OC指標】	事業者調査 〈方法③〉	数年	地域の建設関連団体・不動産関連団体等を通じ、定期的に住宅事業者調査を実施し、最近の一定期間内における「毎年度の住宅の新築又はリフォームの供給戸数」又は「そのうちの地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の供給戸数」を問い、各事業者の実績を合計し、住宅の新築又はリフォームによる供給戸数の総数に占める、地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の供給戸数の割合について集計する※2。

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
④ 状態の改善	15) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した公営住宅等ストックの増加	地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した公営住宅等ストックの増加 【OC指標】	公営住宅等長寿命化計画等 〈方法③④〉 公営住宅管理台帳 〈方法③④〉	5年	公営住宅等長寿命化計画や公営住宅管理台帳等に基づき、公営住宅等ストック(団地数及び住戸数)の総数に占める、地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した外観意匠を有する公営住宅等の団地数の割合及び住戸数の割合について集計する。
	16) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した民間住宅ストックの増加	年間の民間住宅着工戸数に占める地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した民間住宅の新築・リフォーム戸数の割合 【OC指標】	事業者調査 〈方法②〉 補助等実績報告書 〈方法③〉 固定資産税データ 〈方法④〉	5年	年間の民間住宅着工戸数の総数に占める、次の i) 又は ii) のいずれかに該当する住宅戸数の合計の割合について集計する。 なお、年間の着工件数は、税務担当部署が保有する固定資産税関連のデータより算出する。 i) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮して新築又はリフォームにより供給された住宅戸数 ii) 伝統的まちなみの整備ルールに基づき、新築(建替え)又はリフォームを実施した住宅戸数(補助等の支援により供給された戸数)
		民間住宅ストックに占める地域材を活用して供給された住宅の割合 【OC指標】	住宅・土地統計調査 〈方法①〉 事業者調査 〈方法②〉 補助等実績報告書 〈方法③〉	5年	民間住宅ストックの総数に占める、最近の一定期間に次の i) 又は ii) のいずれかに該当する整備を行った住宅戸数の合計の割合について集計する。 i) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮して新築又はリフォームにより供給された住宅戸数 ii) 伝統的まちなみの整備ルールに基づき、新築(建替え)又はリフォームを実施した住宅戸数(補助等の支援により供給された戸数)
	17) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の整備の普及・定着(地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅に居住する世帯の増加)	全住宅ストックに占める地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した住宅の割合 【OC指標】	住宅・土地統計調査 〈方法①〉 事業者調査 〈方法②〉 補助等実績報告書 〈方法③〉	5年	住宅ストックの総数に占める、最近の一定期間に次の i) から iii) のいずれかに該当する整備を行った住宅戸数の合計の割合について集計する※2。 i) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮した外観意匠や居住形態等を有する公営住宅等戸数 ii) 地域らしい景観や伝統的まちなみに配慮して新築又はリフォームにより供給された住宅戸数 iii) 伝統的まちなみの整備ルールに基づき、新築(建替え)又はリフォームを実施した住宅戸数(補助等の支援により供給された戸数)

表1-19 ロジックモデルに基づくアウトカムの達成状況を評価するための指標案（つづき）

段階	アウトカム	指標	指標の計測手法		
			データ	期間	具体的な計測方法
⑤ 効果（最終アウトカム）	18) 地域のまちなみ・景観に対する満足感の向上 【居住者】	まちなみ・景観に対する満足度 【OC 指標】	住宅・土地統計調査/ 住生活総合調査 〈方法①〉	5年	住宅・土地統計調査及び住生活総合調査データに基づき、世帯の総数に占める、住宅のまわりの環境としての「まちなみ・景観に対する満足度」について「満足」又は「まあ満足」と評価している世帯数の合計の割合について集計する。
		伝統的まちなみ地区等における、地区のまちなみ・景観に対する満足度 【OC 指標】	住民調査 〈方法②〉	数年	定期的に住民調査を実施し、伝統的まちなみ地区等における居住者を対象に「地域のまちなみ・景観に対する満足度」を問い、世帯の総数に占める、「地域のまちなみ・景観」に対して「満足」又は「まあ満足」と評価している世帯数の合計の割合について集計する※3。 ※3 上記の結果を、当該地方公共団体の全域での集計結果等と比較する。
	19) 地域や住宅地の価値の維持・向上 【居住者】	当該地方公共団体の固定資産税収入額のうち、個人の住宅用固定資産税収入額の戸当たり増加額 【OC 指標】	固定資産税データ 〈方法④〉	1年	固定資産税収入のうち、個人の住宅用による固定資産税額について、固定資産関連部署にて集計し、それを全住宅戸数で除した戸当たり固定資産税額を求め、前時点からの増減について計算する。
		伝統的まちなみ地区等における地価の変動率 【OC 指標】	地価公示データ 〈方法①〉	1年	地価公示データに基づき、伝統的まちなみ地区等における、地価の変動率について集計する。また、上記の地区における地価の変動率と地方公共団体全域での地価の変動率との比を求め、その比の変化について集計する。
	20) 地域のアイデンティティの維持・継承、観光・交流人口の確保 【社会】	地域の景観やまちなみに地域らしさやのアイデンティティを感じている世帯の割合 【OC 指標】	住民調査 〈方法②〉	数年	定期的に住民調査を実施し、「地域の景観やまちなみに地域らしさやのアイデンティティを感じるか」を問い、世帯の総数に占める、「地域らしさやアイデンティティを感じている」と評価している世帯数の割合について集計する※4。 ※4 伝統的まちなみ地区等の居住者と、それ以外の地区（又は当該地方公共団体の全域）の居住者で集計結果を比較する。
		観光・交流人口の増加率 【OC 指標】	観光（交流）人口データ 〈方法④〉	1年	地域経済分析システムのデータに基づき、対象地方公共団体（伝統的まちなみ地区等）における、地方公共団体外からの観光人口（流動人口、滞在人口等）の増加率について集計する。

注

- 1) 「地域らしい景観や伝統的まちなみ」の定義については、一般的には、地域の気候風土や地域において培われてきた住文化等を反映した、その地域らしい景観やまちなみをいう。ただし、具体の定義や基準等は、各地方公共団体の施策において定めている定義や仕様等によるものとする。以下同様とする。
- 2) 住民調査を抽出調査とする場合は、調査対象のセグメント(対象とする世帯属性や住宅属性、又はそれらを組み合わせたもの)ごとの推定精度を考慮した標本数の確保に配慮する必要がある。一般的には、セグメントごとの必要な標本数は、「必要標本数=1÷許容誤差の2乗(例えば、許容誤差が5%の場合の標本数は 400)」で求められる。回収率を想定してセグメントごとの必要な標本数が得られる標本設計を行う必要がある。以下同様とする。
- 3) 「住宅及び住宅のまわりの環境の評価項目のうち重要と思う項目」については、「平成 30 年住宅・土地統計調査」で用いられている選択肢を参考に、適切な選択肢を検討して設定するものとする。以下同様とする。
- 4) 住民調査の結果については、回答のあった者の総数を母数として集計する。なお、抽出調査とする場合は、調査対象者の抽出率と回答率をもとに「集計乗率」を設定して世帯の総数を推計することも考えられる。以下同様とする。
- 5) セミナー等の対象者が居住者・事業者(技術者)の双方の場合、受付名簿等で区分をし、居住者又は事業者の別に集計できるようにしておく。また、参加者のほか、セミナー等の定員についても整理し、定員に占める参加者数の割合についても集計できるようにしておくことが望ましい。以下同様とする。
- 6) セミナー等の開催時に、参加者にアンケート票を配布し、終了時に回収することで、アンケート結果を集計する。以下同様とする。
- 7) 「ガイドブック」とは、対象施策に係る支援制度や居住改善の方法等についての基礎的な情報を幅広く紹介した冊子と定義する。
- 8) ガイドブックの対象者は主に居住者を想定するが、事業者にも配布されることもあり得るため、配布先について居住者か事業者かの別を記録することで、それぞれへの配布数を把握できるようにしておくことが望ましい。以下同様とする。
- 9) 住宅供給事業者・住宅管理業者向けの調査については、当該地域に本店又は支店・営業所等を有する住宅の供給(新築に加え、リフォームによる供給を含む。)に係る事業者や設計者、住宅管理業者等を対象とする。例えば、次の①から③に掲げるような者を調査対象とすることが考えられる。なお、調査は対象者をリスト化し、悉皆調査とする。以下同様とする。
 - ① (一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)日本建設業経営協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)不動産協会、(一社)全国住宅産業協会、(公社)全国宅地建物取引業協会連合会、(公社)全日本不動産協会、(一社)不動産流通経営協会、(一社)全国住宅産業協会、(一社)日本住宅リフォーム産業協会、(一社)マンション管理業協会、(公社)日本賃貸住宅管理協会、(公社)全国賃貸不動産管理業協会等の業界団体の加盟事業者
 - ② 各都道府県の(一社)建築士事務所協会や(一社)建築士会に加入している建築設計事務所・建築士
 - ③ 各地方公共団体で把握している地域の工務店、地域ビルダー等
- 10) 事業者調査の結果については、回答のあった事業者の総数を母数として集計する。以下同様とする。
- 11) 市区町村については、地方自治法に基づく地方公共団体の区分(指定都市、中核市、施行時特例市、その他の市、町村、特別区)で集計することや、その他の市については人口規模別に集計することが考えられる。以下同様とする。
- 12) 増改築や改修という表現が用いられることもあるが、ここでは「リフォーム」と表記する。以下同様とする。
- 13) 専門家派遣や費用補助等の支援施策の実績については、申請件数、利用件数のほか、支援対象の件数・予算の上限と、上限に対する実際の利用件数・利用額(累計)についても把握できるようにしておくことが望ましい。以下同様とする。
- 14) 相談会での相談件数、日常的な相談窓口における相談件数(訪問のほか、電話を含む)に区分して集計する。また、相談者の属性や相談内容について、1件ずつ所定のフォーマットにより記録をとり、居住者からの問い合わせ分について集計する。
- 15) 「ガイドライン」とは、専門的な観点から居住改善の判断となるような考え方を解説した冊子と定義する。
- 16) ガイドラインの対象者は主に事業者を想定するが、居住者にも配布されることもあり得るため、配布先について事業者か居住者かの別を記録することで、それぞれへの配布数を把握できるようにしておくことが望ましい。以下同様とする。